

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

選択式(統計判定), 記述式, 論述式

分量・難易(前年比較)

分量(減少・やや減少・**変化なし**・やや増加・増加)

難易(易化・やや易化・**変化なし**・やや難化・難化)

大問5題。選択式・記述式の解答個数は28で、昨年(30)よりやや減少した。一方、論述式は、字数指定のあるものが13問(昨年は15問)、総字数490字(昨年は500字)と昨年と同程度、字数指定のないものが9問(15字程度が4問、20字程度が5問)で昨年の6問より増加した。この結果、論述式全体の総字数は650字程度となり、昨年(約600字)に比べて50字程度増加したものの、問題分量としては昨年度と同程度と考えてよいだろう。大問ごとにみると、字数指定問題がIは1問(40字)、IIは4問(140字)、IIIは4問(140字)、IVは2問(90字)、Vは2問(80字)で、1問当たり字数は、30字が4問、40字が8問、50字が1問、字数指定のないものはIで3問(約45字)、IVで2問(約35字)、Vで4問(約80字)出題された。

出題の特徴や昨年との変更点

2026年度の大問構成は、Iが「地誌的問題」、IIが「気候と衣服」、IIIが「防災」、IVが「交通・通信」、Vが「地形図読図」となっており、例年テーマの違いはあるものの、今年度もおおよそ本学の標準的な出題構成である。大問間の問題量の差は昨年同様小さい。例年、図表の読み取り問題が多く、本年度もすべての大問で地図またはグラフ・表が使用されている。

その他トピックス

特になし

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント(設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
I	選択式 記述式 論述式	東南アジアの農業と環境問題	写真・地図・リード文利用。棚田と地形条件、緑の革命、焼畑農業の持続性、エビ養殖の自然条件、油やし農園とアグリビジネスなど。論述式は、(2)棚田の地形条件および形態(1行無指定)、(4)①焼畑農業の持続性(40字)、(5)エビ養殖に適した自然条件(1行無指定)、(6)②油やしに関わる事業におけるアグリビジネスの役割(1行無指定)。	標準
II	選択式 記述式 論述式	気候と衣服	地図・雨温図利用。雨温図の示す都市の判定、ポンチョ、アンデス地域の気温、ロンドンで霧の多い季節と自然的要因、アラビア半島の衣服、遊牧と気候・植生、チマチョゴリとオンドルなど。論述式は、(2)②アンデス高山地域の気温の年変化の特徴と要因(30字)、(3)②ロンドンで霧を発生させる自然的要因(40字)、(4)アラビア半島の衣服に影響する気候の特徴(30字)、(5)中央アジアの伝統的生業(遊牧)と気候・植生との結びつき(40字)。	標準

III	記述式 論述式	防災	地図利用（仙台市周辺の津波に関するハザードマップ）。記述式は、災害（津波）に備えるハード面とソフト面の取り組み、自然災害伝承碑、東北地方太平洋沖地震に関わる大陸プレート、火山前線、内水氾濫。論述式は、(1)浸水リスクが高い場所に避難場所がある理由（40字）、(2)③自然災害伝承碑と防災上のメリット（30字）、(4)都市部で内水氾濫が起こりやすい理由（40字）、(5)水害や土砂災害が日本で起こりやすい理由（30字）。	標準
IV	選択式 記述式 論述式	交通・通信	統計表・リード文・グラフ利用。統計表は5か国の自動車普及状況。表の国名判定、ロードプライシング、LRT、モーダルシフト、テレワーカーの割合と産業など。論述式は、(3)従来の鉄道や地下鉄とくらべたLRT導入の利点（3/4行無指定）、(4)②コンテナ活用が環境負荷の低減につながる理由（40字）、(5)①テレワーカーの割合が低い産業の共通点（1行無指定）、②それが中京圏で特に低い理由（50字）。	標準
V	記述式 論述式	地形図読図	20万分の1地勢図「札幌」と5万分の1地形図「石狩（3つの地域に分けて表示）」と統計表（日本のLNG輸入先）利用。記述式は集落立地の地形（砂州）、三日月湖（河跡湖）、タウンシップ制。論述式は、(1)②港が立地する地形上の利点（1行無指定）、(2)工業団地に適した立地環境（1行無指定）、(3)データセンターが立地する気候上の利点（40字）、(4)②天然ガスからLNGへの変化と輸送（1行無指定）、(5)石狩川の流路変化（1行無指定）、(6)①地形図中の道路形態と道路名称の特徴（40字）。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

## <学習対策>

教科書を利用した基本知識（地名や用語）の蓄積は当然だが、論述式への対応として、基本的な地理用語の語義、自然や人文現象の地域的な違いとその理由・背景などについて、簡潔に（20字～60字程度）ポイントを絞って書く練習を繰り返すことが必要である。また、地形図や統計図表の読み取りなど地理的技能や思考力を試す出題が多く、難問もあるので、日頃から図表の読解力を高めるよう心がけたい。特に地形図の読図問題は、毎年必ず出題されるようになっているので、早い時期から読図練習に取り組むことが必要である。これらについては、過去問を研究して確かめておこう。